

下線部が改正部分

改正案	現 行
<p>別紙2（第5条関係）無線局の目的別審査基準</p> <p>第1（略）</p> <p>第2 陸上関係</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 その他の一般無線局</p> <p>(1)～(7)（略）</p> <p><u>(8) 削除</u></p>	<p>別紙2（第5条関係）無線局の目的別審査基準</p> <p>第1（略）</p> <p>第2 陸上関係</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 その他の一般無線局</p> <p>(1)～(7)（略）</p> <p><u>(8) 無線標定業務用（車両位置等自動表示方式の無線局であって、分散送信方式及び分散受信方式のものに限る。）</u></p> <p><u>ア 開設の条件</u></p> <p><u>(ア) 免許主体</u></p> <p><u>位置信号を常時送信する無線局（以下この(8)において「サインポストの無線局」という。）の免許主体は、一地域一免許人（隣接する2以上の地域において、社会的経済的諸条件及び地勢並びに陸上移動業務用無線局の移動範囲等を考慮して、これらの地域を併せて一の業務区域とすることが適当と考えられる場合は、これらの地域に一免許人）とし、次によることとする。</u></p> <p><u>A 当該地域において位置信号業務を行う一般社団法人又は一般財団法人とする。</u></p> <p><u>なお、この一般社団法人又は一般財団法人については、当該地域に陸上移動業務の集中基地を管理・運営している団体があれば、この団体を活用するものであること。</u></p> <p><u>B その他、当該地域における車両位置等自動表示方式（以下この(8)において「AVMシステム」という。）に係る無線局の開設の動向その他の特殊な事情により一般社団法人又は一般財団法人を設立することが当面困難又は不可能な場合は、分散送信方式（サインポストの無線局を多数分散配置し、陸上移動局は、最も近いサインポストの無線局の位置信号を受信し、これに自局の車両番号等の情報を加え、基地局に送信し、その通信所において車両の位置等を把握する方法をいう。以下この(8)において同じ。）のAVMシステムに係る無線局を開設する者又は当該システムに係る無線局を開設する者を構成員とする団体とする。この場合において、将来当該地域に分散送信方式のAVMシステムに係る無線局</u></p>

を開設する者が相当数に達した場合は、一般社団法人又は一般財団法人を設立するものであること。

(イ) 周波数の効率的使用

AVMシステムに係る無線局の開設に当たっては、陸上移動業務用の周波数の効率的使用に支障を与えるものであってはならない。

(ウ) 地域的制限等

A AVMシステムに係る無線局の開設の地域的制限は、次によることとする。

ただし、警察庁が開設するものは、この限りでない。

(A) 特別区、政令指定都市及びこれらに準ずる都市(この以下(8)において「大都市」という。)の地域においてAVMシステムに係る無線局を開設する場合は、原則として分散送信方式によるものとする。

(B) 大都市以外の地域(市町村を単位とする。)においてAVMシステムに係る無線局を開設する場合は、分散送信方式又は分散受信方式(陸上移動局からの車両番号等の情報の信号を受信する受信設備を多数分散配置し、陸上移動局からの信号を最も近い受信設備が受信し、これを有線で通信所に伝送し車両の位置等を把握する方式をいう。以下(8)において同じ。)によるものとする。ただし、分散受信方式のAVMシステムに係る無線局の開設については、当該地域において分散送信方式のAVMシステムに係る無線局が開発されておらず、かつ、近い将来において開設されることが予測されない場合又は当該地域において分散受信方式のAVMシステムに係る無線局を開設する者が相当数に達することが予測されない場合において認めることとし、次によることとする。

a 陸上移動局からの車両番号等の情報の信号を専用送信するための電波の周波数については指定しない。

b 当該地域において分散送信方式のAVMシステムに係る無線局が開設された場合は、分散受信方式のAVMシステムに係る無線局の無線設備の更新の時期に、分散送信方式のものに移行するものであること。

B 大都市の地域において、現に分散受信方式のAVMシステムに係る無線局を開設している者(警察庁を除く。)に対しては、当該無線局の無線設備の更新の時期に分散送信方式のものに移行するものであること。

イ 無線設備の工事設計等

(ア) 分散送信方式のAVMシステムに係る無線局

A サインポストの無線局

(A) 通信の相手方

次に掲げる免許主体の区分に従い、それぞれに掲げるとおりとする。

a 一般財団法人

免許人と位置信号受信契約をした者所属の受信設備

b 一般社団法人又は分散送信方式のAVMシステムに係る無線局を開設する者を構成員とする団体

免許人の構成員所属の受信設備

c 分散送信方式のAVMシステムに係る無線局を開設しようとするa及びb以外の者

免許人所属の受信設備

(B) 通信事項

位置信号業務に関する事項であること。

(C) 無線設備の設置場所

サインポストの無線局の無線設備は、当該無線局の位置信号を利用する者の事業区域等を考慮し、合理的、計画的に設置されているものであること。

(D) 標識符号

標識符号は、(F) gに規定する位置信号を構成する地域信号及び地点信号の8桁の数字を指定する。

(E) 添付書類

a 申請書には、サインポストの無線局から位置信号を受信する装置(以下(8)において「位置信号受信装置」という。)の設置者及び位置信号受信装置数についての資料の添付があること。

b サインポストの無線局の無線設備の設置のため、道路を占有することとなる場合、他人の電柱等に共架することとなる場合又は他人の建築物等の一部を借用することとなる場合は、道路占有の許可若しくは電柱等の共架等の同意書又はその許可若しくは同意の見通しがあることを証する書面の添付があること。

(F) 技術基準

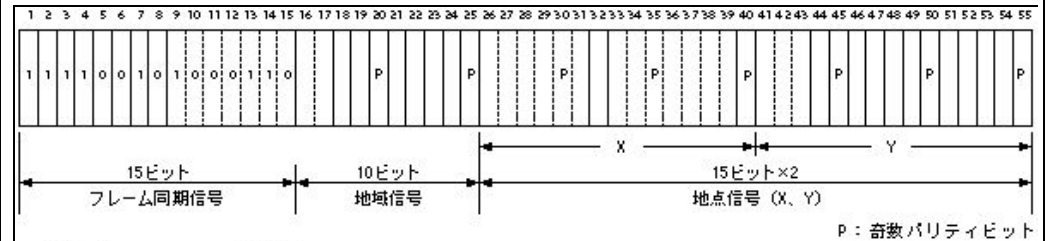
a 周波数は、426MHzであること。

b 電波の型式は、F2Dであること。

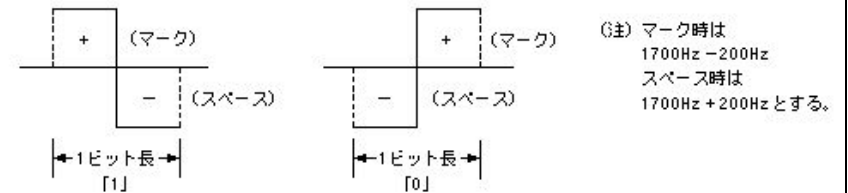
c 空中線電力は、1W以下であること。

d 位置信号は、フレーム同期信号、地域信号及び地点信号により次図のとおり構成されるものであり、また、地域信号及び地点信号は、次表の基準に合致するものであること。

位置信号の構成図



1フレーム ----- 55ビット
 フレーム同期信号 ----- 15ビット 111100101000110
 地域信号 ----- 10ビット (BCDコード+パリティ符号) × 2けた (00~99)
 地点信号 (X、Y) ----- 15ビット×2 (BCDコード+パリティ符号) × 3けた×2 (000~999、000~999)
 符号形式 ----- NRZ等長符号で次のとおりとする。



地域信号及び地点信号の付与基準

1 地域信号

別紙(8)で定める地域信号のとおりとする。

2 地点信号

地点信号は、次の算式により得たX及びYの値により構成されるものとする。

$$X = | \text{基準点の経度} - \text{サインポストの経度} \div \text{サインポストの緯度} \times \text{50mの距離に相当する経度の差の値} |$$

$$Y = | \text{基準点の緯度} - \text{サインポストの緯度} \div \text{サインポストの経度} \times \text{50mの距離に相当する緯度の差の値} |$$

注

- 1 基準点の経度又は緯度とは、サインポストの無線局の無線設備の設置場所の存する地域の基準点(別表(8)でとする。)の経度又は緯度をいう。
- 2 サインポストの経度又は緯度とは、サインポストの無線局の無線設備の設置場所の経度又は緯度をいう。
- 3 X又はYは、小数点以下を四捨五入した整数とする。
- 4 経度又は緯度は秒単位とする。ただし、50mの距離に相当する経度(又は緯度)の差の値は、秒以下小数点第1位

- e 変調方式は、次のとおりのものであること。
 - (a) 主搬送波の変調については、周波数変調であり、周波数偏移は変調のないときの搬送波より±1.25kHzを超え±2.25kHz以内であること。
 - (b) 変調記号は、副搬送波1700Hzを位置信号により周波数偏位±200Hzで変調されたものであること。
 - (c) 位置信号の送信速度は、毎秒200ビットとし、許容偏差は 1×10^{-3} 以内のものであること。
 - (d) 位置信号は、連続して送出されるものであること。
 - f 電源の障害時には、予備電源装置の接続が可能なものであること。
 - g 空中線等は、次のとおりのものであること。
 - (a) 偏波面は、原則として垂直であること。
 - (b) 指向性は、原則として水平面無指向性のものであること。
 - (c) 空中線の高さは、所要のサービスエリアを確保するのに適切な高さであること。
 - h サービスエリア内の最低電界強度等は、次のとおりのものであること。
 - (a) 一のサインポストの無線局のサービスエリア内の最低電界強度(中央値をいう。)は、50dB μ /m以上であること。
 - (b) サインポストの無線局のサービスエリアは原則として相互に重複しないものであること。
- B 位置信号受信装置の技術基準(サインポストの無線局の狭帯域化がなされていない場合を除く。)
- (A) 感度は、雑音抑圧を20dBとするために必要な受信機入力電圧が10 μ V以上であること。
 - (B) 一信号選択度は、次のとおりのものであること。
 - a 通過帯域幅は、6dB低下の幅が12kHz以上であること。
 - b 減衰量は、70dB低下の帯域幅が30kHz以内であること。
 - c スプリアス・レスポンスは、60dB以上であること。
 - (C) 実効選択度は、次のとおりのものであること。
 - a 感度抑圧効果は、雑音抑圧を20dBとするために必要な受信機入力電圧より6dB高い希望波入力電圧を加えた状態の下で希望波から25kHz以上離れた妨害波を加えた場合において、雑音抑圧が20dBと

なる時のその妨害波入力電圧が12.6mV以上であること。

b 相互変調特性は、希望波信号のない状態で相互変調を生ずる関係にある各妨害波を入力電圧7.12mVで加えた場合において、雑音抑圧が20dB以下であること。

(D) 局部発振器の周波数変動は、0.001%以内であること。

C 基地局及び陸上移動局

(A) 電波の型式は、F2Dであること。

(B) 陸上移動局の申請者又は免許人が他人の開設したサインポストの無線局の送信する位置信号を受信することとなる場合は、当該申請者又は免許人に、その受信についてサインポストの無線局の免許人の承諾書を添付させるものとする。

(C) AVMシステムの情報処理装置(指令卓、中央処理装置、表示盤等)は、基地局の附属装置とする。

(D) 位置信号受信装置及びAVMシステムの信号付加装置は、陸上移動局の附属装置とする。

(イ) 分散受信方式のAVMシステムに係る無線局

A 電波の型式は、F2Dであること。

B 分散配置する受信設備は、基地局の受信設備であること。

C AVMシステムの情報処理装置(指令卓、中央処理装置、表示盤等)は、基地局の附属装置であること。

D AVMシステムの信号付加装置は、陸上移動局の附属装置であること。

E 分散配置する受信設備の技術基準は、次のとおりとする。

(A) 受信装置については、(ア)のBの基準に適合するものであること。

(B) 空中線については、(ア)A(F)gの基準に適合するものであること。

別表(8) 地域信号及び地域基準点の緯度、経度の一覧表

関東総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する都県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	140° 30'	37° 10'	140° 30' ~141° 00'	36° 45' ~37° 10'	茨城県
02	140° 00'	37° 10'	140° 00' ~140° 30'	36° 45' ~37° 10'	〃
03	140° 30'	36° 45'	140° 30' ~141° 00'	36° 20' ~36° 45'	〃
04	140° 00'	36° 45'	140° 00' ~140° 30'	36° 20' ~36° 45'	〃
05	139° 30'	36° 45'	139° 30' ~140° 00'	36° 20' ~36° 45'	〃
06	139° 30'	36° 20'	139° 30' ~140° 00'	35° 55' ~36° 20'	〃

07	<u>140° 00'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>140° 00' ~140° 30'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
08	<u>140° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>140° 30' ~141° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
09	<u>140° 00'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>140° 00' ~140° 30'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
10	<u>140° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>140° 30' ~141° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
11	<u>139° 00'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	栃木県
12	<u>139° 30'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	<u>〃</u>
13	<u>140° 00'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>140° 00' ~140° 30'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	<u>〃</u>
14	<u>139° 00'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
15	<u>139° 30'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
16	<u>140° 00'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>140° 00' ~140° 30'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
17	<u>139° 00'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
18	<u>139° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
19	<u>138° 30'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	群馬県
20	<u>139° 00'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	<u>〃</u>
21	<u>139° 00'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
22	<u>138° 30'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
23	<u>138° 00'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>138° 00' ~138° 30'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
24	<u>138° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
25	<u>139° 00'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
26	<u>139° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
27	<u>139° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	埼玉県
28	<u>139° 00'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
29	<u>138° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
30	<u>139° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
31	<u>139° 00'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
32	<u>138° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
33	<u>138° 00'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>138° 00' ~138° 30'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	山梨県
34	<u>138° 00'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>138° 00' ~138° 30'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
35	<u>138° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
36	<u>139° 00'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
37	<u>138° 00'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>138° 00' ~138° 30'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	<u>〃</u>
38	<u>138° 30'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	<u>〃</u>
39	<u>139° 00'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	<u>〃</u>

40	<u>138° 30'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	神奈川県
41	<u>139° 00'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	〃
42	<u>139° 00'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	〃
43	<u>139° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	〃
44	<u>139° 30'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	〃
45	<u>138° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>138° 30' ~139° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	東京都
46	<u>139° 00'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 00' ~139° 30'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	〃
47	<u>139° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	〃
48	<u>139° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	千葉県
49	<u>139° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	〃
50	<u>140° 00'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>140° 00' ~140° 30'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	〃
51	<u>140° 30'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>140° 30' ~141° 00'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	〃
52	<u>140° 30'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>140° 30' ~141° 00'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	〃
53	<u>139° 30'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	〃
54	<u>140° 00'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>140° 00' ~140° 30'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	〃
55	<u>139° 30'</u>	<u>35° 05'</u>	<u>139° 30' ~140° 00'</u>	<u>34° 40' ~35° 05'</u>	〃
56	<u>140° 00'</u>	<u>35° 05'</u>	<u>140° 00' ~140° 30'</u>	<u>34° 40' ~35° 05'</u>	〃
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--

信越総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>139° 18'</u>	<u>38° 34'</u>	<u>139° 18' ~139° 48'</u>	<u>38° 09' ~38° 34'</u>	新潟県
02	<u>139° 48'</u>	<u>38° 34'</u>	<u>139° 48' ~140° 18'</u>	<u>38° 09' ~38° 34'</u>	〃
03	<u>139° 18'</u>	<u>38° 09'</u>	<u>139° 18' ~139° 48'</u>	<u>37° 44' ~38° 09'</u>	〃
04	<u>138° 48'</u>	<u>38° 09'</u>	<u>138° 48' ~139° 18'</u>	<u>37° 44' ~38° 09'</u>	〃
05	<u>138° 18'</u>	<u>38° 34'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>38° 09' ~38° 34'</u>	〃
06	<u>137° 48'</u>	<u>38° 09'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>37° 44' ~38° 09'</u>	〃
07	<u>138° 18'</u>	<u>38° 09'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>37° 44' ~38° 09'</u>	〃
08	<u>138° 18'</u>	<u>37° 44'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>37° 19' ~37° 44'</u>	〃
09	<u>138° 48'</u>	<u>37° 44'</u>	<u>138° 48' ~139° 18'</u>	<u>37° 19' ~37° 44'</u>	〃
10	<u>139° 18'</u>	<u>37° 44'</u>	<u>139° 18' ~139° 48'</u>	<u>37° 19' ~37° 44'</u>	〃

11	<u>138° 18'</u>	<u>37° 19'</u>	<u>138° 18' ~139° 48'</u>	<u>36° 54' ~37° 19'</u>	<u>〃</u>
12	<u>138° 48'</u>	<u>37° 19'</u>	<u>138° 48' ~139° 18'</u>	<u>36° 54' ~37° 19'</u>	<u>〃</u>
13	<u>137° 48'</u>	<u>37° 19'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>36° 54' ~37° 19'</u>	<u>〃</u>
14	<u>137° 18'</u>	<u>37° 19'</u>	<u>137° 18' ~137° 48'</u>	<u>36° 54' ~37° 19'</u>	<u>〃</u>
15	<u>137° 18'</u>	<u>36° 54'</u>	<u>137° 18' ~137° 48'</u>	<u>36° 29' ~36° 54'</u>	<u>〃</u>
16	<u>137° 48'</u>	<u>36° 54'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>36° 29' ~36° 54'</u>	<u>〃</u>
17	<u>138° 18'</u>	<u>36° 54'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>36° 29' ~36° 54'</u>	<u>〃</u>
18	<u>138° 48'</u>	<u>36° 54'</u>	<u>138° 48' ~139° 18'</u>	<u>36° 29' ~36° 54'</u>	<u>〃</u>
19	<u>137° 18'</u>	<u>36° 54'</u>	<u>137° 18' ~137° 48'</u>	<u>36° 29' ~36° 54'</u>	<u>長野県</u>
20	<u>137° 48'</u>	<u>36° 54'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>36° 29' ~36° 54'</u>	<u>〃</u>
21	<u>138° 18'</u>	<u>37° 19'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>36° 54' ~37° 19'</u>	<u>〃</u>
22	<u>138° 18'</u>	<u>36° 54'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>36° 29' ~36° 54'</u>	<u>〃</u>
23	<u>137° 18'</u>	<u>36° 29'</u>	<u>137° 18' ~137° 48'</u>	<u>36° 04' ~36° 29'</u>	<u>〃</u>
24	<u>137° 48'</u>	<u>36° 29'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>36° 04' ~36° 29'</u>	<u>〃</u>
25	<u>138° 18'</u>	<u>36° 29'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>36° 04' ~36° 29'</u>	<u>〃</u>
26	<u>137° 18'</u>	<u>36° 04'</u>	<u>137° 18' ~137° 48'</u>	<u>35° 39' ~36° 04'</u>	<u>〃</u>
27	<u>137° 48'</u>	<u>36° 04'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>35° 39' ~36° 04'</u>	<u>〃</u>
28	<u>138° 18'</u>	<u>36° 04'</u>	<u>138° 18' ~138° 48'</u>	<u>35° 39' ~36° 04'</u>	<u>〃</u>
29	<u>137° 18'</u>	<u>35° 39'</u>	<u>137° 18' ~137° 48'</u>	<u>35° 14' ~35° 39'</u>	<u>〃</u>
30	<u>137° 48'</u>	<u>35° 39'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>35° 14' ~35° 39'</u>	<u>〃</u>
31	<u>137° 18'</u>	<u>35° 14'</u>	<u>137° 18' ~137° 48'</u>	<u>34° 49' ~35° 14'</u>	<u>〃</u>
32	<u>137° 48'</u>	<u>35° 14'</u>	<u>137° 48' ~138° 18'</u>	<u>34° 49' ~35° 14'</u>	<u>〃</u>

東海総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>136° 40'</u>	<u>36° 37'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>36° 12' ~36° 37'</u>	<u>岐阜県</u>
02	<u>137° 10'</u>	<u>36° 37'</u>	<u>137° 10' ~137° 40'</u>	<u>36° 12' ~36° 37'</u>	<u>〃</u>
03	<u>136° 40'</u>	<u>36° 12'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>35° 47' ~36° 12'</u>	<u>〃</u>
04	<u>137° 10'</u>	<u>36° 12'</u>	<u>137° 10' ~137° 40'</u>	<u>35° 47' ~36° 12'</u>	<u>〃</u>
05	<u>136° 10'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>136° 10' ~136° 40'</u>	<u>35° 22' ~35° 47'</u>	<u>〃</u>
06	<u>136° 40'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>35° 22' ~35° 47'</u>	<u>〃</u>
07	<u>137° 10'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>137° 10' ~137° 40'</u>	<u>35° 22' ~35° 47'</u>	<u>〃</u>

08	<u>136° 10'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>136° 10' ~136° 40'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
09	<u>136° 40'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
10	<u>137° 10'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>137° 10' ~137° 40'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
11	<u>137° 40'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>137° 40' ~138° 10'</u>	<u>35° 22' ~35° 47'</u>	静岡県
12	<u>138° 10'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>138° 10' ~138° 40'</u>	<u>35° 22' ~35° 47'</u>	<u>〃</u>
13	<u>137° 40'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>137° 40' ~138° 10'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
14	<u>138° 10'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>138° 10' ~138° 40'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
15	<u>137° 10'</u>	<u>34° 57'</u>	<u>137° 10' ~137° 40'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
16	<u>137° 40'</u>	<u>34° 57'</u>	<u>137° 40' ~138° 10'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
17	<u>138° 10'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>138° 10' ~138° 40'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
18	<u>138° 40'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>138° 40' ~139° 10'</u>	<u>35° 22' ~35° 47'</u>	<u>〃</u>
19	<u>138° 40'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>138° 40' ~139° 10'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
20	<u>138° 40'</u>	<u>34° 57'</u>	<u>138° 40' ~139° 10'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
21	<u>136° 40'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	愛知県
22	<u>136° 40'</u>	<u>35° 47'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>34° 32' ~35° 57'</u>	<u>〃</u>
23	<u>137° 10'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>137° 10' ~137° 40'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
24	<u>136° 40'</u>	<u>34° 57'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
25	<u>137° 10'</u>	<u>34° 57'</u>	<u>137° 10' ~137° 40'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
26	<u>137° 40'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>137° 40' ~138° 10'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
27	<u>136° 40'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	三重県
28	<u>136° 10'</u>	<u>35° 22'</u>	<u>136° 10' ~136° 40'</u>	<u>34° 57' ~35° 22'</u>	<u>〃</u>
29	<u>136° 10'</u>	<u>34° 57'</u>	<u>136° 10' ~136° 40'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
30	<u>135° 40'</u>	<u>34° 57'</u>	<u>135° 40' ~136° 10'</u>	<u>34° 32' ~34° 57'</u>	<u>〃</u>
31	<u>136° 10'</u>	<u>34° 32'</u>	<u>136° 10' ~136° 40'</u>	<u>34° 07' ~34° 32'</u>	<u>〃</u>
32	<u>136° 40'</u>	<u>34° 32'</u>	<u>136° 40' ~137° 10'</u>	<u>34° 07' ~34° 32'</u>	<u>〃</u>
33	<u>135° 40'</u>	<u>34° 32'</u>	<u>135° 40' ~136° 10'</u>	<u>34° 07' ~34° 32'</u>	<u>〃</u>
34	<u>135° 40'</u>	<u>34° 07'</u>	<u>135° 40' ~136° 10'</u>	<u>33° 42' ~34° 07'</u>	<u>〃</u>
35	<u>136° 10'</u>	<u>34° 07'</u>	<u>136° 10' ~136° 40'</u>	<u>33° 42' ~34° 07'</u>	<u>〃</u>

北陸総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>136° 24'</u>	<u>37° 35'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>37° 10' ~37° 35'</u>	石川県

02	<u>136° 54'</u>	<u>37° 35'</u>	<u>136° 54' ~137° 24'</u>	<u>37° 10' ~37° 35'</u>	<u>〃</u>
03	<u>136° 24'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	<u>〃</u>
04	<u>136° 54'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>136° 54' ~137° 24'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	<u>〃</u>
05	<u>136° 24'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
06	<u>135° 54'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>135° 54' ~136° 24'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
07	<u>136° 24'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
08	<u>136° 24'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	富山県
09	<u>136° 54'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>136° 54' ~137° 24'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	<u>〃</u>
10	<u>137° 24'</u>	<u>37° 10'</u>	<u>137° 24' ~137° 54'</u>	<u>36° 45' ~37° 10'</u>	<u>〃</u>
11	<u>136° 24'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
12	<u>136° 54'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>136° 54' ~137° 24'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
13	<u>137° 24'</u>	<u>36° 45'</u>	<u>137° 24' ~137° 54'</u>	<u>36° 20' ~36° 45'</u>	<u>〃</u>
14	<u>136° 54'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>136° 54' ~137° 24'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
15	<u>136° 24'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
16	<u>135° 54'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>135° 54' ~136° 24'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	福井県
17	<u>135° 54'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>135° 54' ~136° 24'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
18	<u>135° 24'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>135° 24' ~135° 54'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
19	<u>136° 24'</u>	<u>36° 20'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>35° 55' ~36° 20'</u>	<u>〃</u>
20	<u>136° 24'</u>	<u>35° 55'</u>	<u>136° 24' ~136° 54'</u>	<u>35° 30' ~35° 55'</u>	<u>〃</u>
21	<u>135° 24'</u>	<u>35° 30'</u>	<u>135° 24' ~135° 54'</u>	<u>35° 05' ~35° 30'</u>	<u>〃</u>
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--

近畿総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>136° 20'</u>	<u>35° 45'</u>	<u>136° 20' ~136° 50'</u>	<u>35° 20' ~35° 45'</u>	滋賀県

02	<u>136° 20'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>136° 20' ~136° 50'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
03	<u>135° 50'</u>	<u>35° 45'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>35° 20' ~35° 45'</u>	<u>〃</u>
04	<u>135° 50'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
05	<u>135° 20'</u>	<u>35° 45'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>35° 20' ~35° 45'</u>	<u>〃</u>
06	<u>135° 20'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
07	<u>135° 50'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
08	<u>134° 50'</u>	<u>35° 45'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>35° 20' ~35° 45'</u>	京都府
09	<u>135° 20'</u>	<u>35° 45'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>35° 20' ~35° 45'</u>	<u>〃</u>
10	<u>134° 50'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
11	<u>135° 20'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
12	<u>135° 20'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
13	<u>135° 50'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
14	<u>135° 20'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	大阪府
15	<u>135° 20'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
16	<u>134° 50'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>
17	<u>135° 20'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>
18	<u>135° 20'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	奈良県
19	<u>135° 50'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
20	<u>135° 20'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>
21	<u>135° 50'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>
22	<u>135° 20'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
23	<u>135° 50'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
24	<u>134° 50'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	和歌山県
25	<u>135° 20'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>
26	<u>134° 50'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
27	<u>135° 20'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
28	<u>135° 50'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
29	<u>135° 20'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
30	<u>135° 50'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>135° 50' ~136° 20'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
31	<u>134° 20'</u>	<u>35° 45'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>35° 20' ~35° 45'</u>	兵庫県
32	<u>134° 50'</u>	<u>35° 45'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>35° 20' ~35° 45'</u>	<u>〃</u>
33	<u>133° 50'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
34	<u>134° 20'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>

35	<u>134° 50'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
36	<u>135° 20'</u>	<u>35° 20'</u>	<u>135° 20' ~135° 50'</u>	<u>34° 55' ~35° 20'</u>	<u>〃</u>
37	<u>133° 50'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 50' ~134° 20'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
38	<u>134° 20'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
39	<u>134° 50'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
40	<u>135° 20'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>135° 20' ~135° 20'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	<u>〃</u>
41	<u>134° 50'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>134° 50' ~135° 20'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>
42	<u>134° 20'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>

中国総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>134° 15'</u>	<u>35° 52'</u>	<u>134° 15' ~134° 45'</u>	<u>34° 27' ~35° 52'</u>	鳥取県
02	<u>134° 15'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>134° 15' ~134° 45'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	〃
03	<u>133° 45'</u>	<u>35° 52'</u>	<u>133° 45' ~134° 15'</u>	<u>35° 27' ~35° 52'</u>	〃
04	<u>133° 45'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>133° 45' ~134° 15'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	〃
05	<u>133° 15'</u>	<u>35° 52'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>35° 27' ~35° 52'</u>	〃
06	<u>133° 15'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	〃
07	<u>132° 45'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>132° 45' ~133° 15'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	〃
08	<u>134° 15'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>134° 15' ~134° 45'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	岡山県
09	<u>133° 45'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>133° 45' ~134° 15'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	〃
10	<u>133° 15'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	〃
11	<u>134° 15'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>134° 15' ~134° 45'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	〃
12	<u>133° 45'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>133° 45' ~134° 15'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	〃
13	<u>133° 15'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	〃
14	<u>133° 45'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>133° 45' ~134° 15'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	〃
15	<u>133° 15'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	〃
16	<u>132° 45'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>132° 45' ~133° 15'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	広島県
17	<u>133° 15'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	〃
18	<u>132° 45'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>132° 45' ~133° 15'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	〃
19	<u>132° 15'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>132° 15' ~132° 45'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	〃
20	<u>131° 45'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>131° 45' ~132° 15'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	〃
21	<u>133° 15'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	〃

22	<u>132° 45'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>132° 45' ~133° 15'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	<u>〃</u>
23	<u>132° 15'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>132° 15' ~132° 45'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	<u>〃</u>
24	<u>131° 45'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>132° 45' ~132° 15'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	<u>〃</u>
25	<u>133° 15'</u>	<u>35° 52'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>35° 27' ~35° 52'</u>	島根県
26	<u>133° 15'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>133° 15' ~133° 45'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	<u>〃</u>
27	<u>132° 45'</u>	<u>35° 52'</u>	<u>132° 45' ~133° 15'</u>	<u>35° 27' ~35° 52'</u>	<u>〃</u>
28	<u>132° 45'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>132° 45' ~133° 15'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	<u>〃</u>
29	<u>132° 15'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>132° 15' ~132° 45'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	<u>〃</u>
30	<u>132° 15'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>132° 15' ~132° 45'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	<u>〃</u>
31	<u>131° 45'</u>	<u>35° 27'</u>	<u>131° 45' ~132° 15'</u>	<u>35° 02' ~35° 27'</u>	<u>〃</u>
32	<u>131° 45'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>131° 45' ~132° 15'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	<u>〃</u>
33	<u>131° 45'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>131° 45' ~132° 15'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	<u>〃</u>
34	<u>131° 15'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>131° 15' ~131° 45'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	<u>〃</u>
35	<u>131° 15'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>131° 15' ~131° 45'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	<u>〃</u>
36	<u>131° 45'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>131° 45' ~132° 15'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	山口県
37	<u>131° 45'</u>	<u>34° 12'</u>	<u>131° 45' ~132° 15'</u>	<u>33° 47' ~34° 12'</u>	<u>〃</u>
38	<u>131° 15'</u>	<u>35° 02'</u>	<u>131° 15' ~131° 45'</u>	<u>34° 37' ~35° 02'</u>	<u>〃</u>
39	<u>131° 15'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>131° 15' ~131° 45'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	<u>〃</u>
40	<u>131° 15'</u>	<u>34° 12'</u>	<u>131° 15' ~131° 45'</u>	<u>33° 47' ~34° 12'</u>	<u>〃</u>
41	<u>130° 45'</u>	<u>34° 37'</u>	<u>130° 45' ~131° 15'</u>	<u>34° 12' ~34° 37'</u>	<u>〃</u>
42	<u>130° 45'</u>	<u>34° 12'</u>	<u>130° 45' ~131° 15'</u>	<u>33° 47' ~34° 12'</u>	<u>〃</u>
—	—	—	—	—	—

四国総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>133° 20'</u>	<u>34° 35'</u>	<u>133° 20' ~133° 50'</u>	<u>34° 10' ~34° 35'</u>	香川県
02	<u>133° 50'</u>	<u>34° 35'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>34° 10' ~34° 35'</u>	<u>〃</u>
03	<u>134° 20'</u>	<u>34° 35'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>34° 10' ~34° 35'</u>	<u>〃</u>
04	<u>134° 20'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
05	<u>133° 50'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
06	<u>133° 20'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>133° 20' ~133° 50'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
07	<u>134° 20'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	徳島県

08	<u>133° 50'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
09	<u>133° 20'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>133° 20' ~133° 50'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
10	<u>134° 20'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>134° 20' ~134° 50'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>
11	<u>133° 50'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>
12	<u>133° 50'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	高知県
13	<u>133° 50'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>
14	<u>133° 50'</u>	<u>33° 20'</u>	<u>133° 50' ~134° 20'</u>	<u>32° 55' ~33° 20'</u>	<u>〃</u>
15	<u>133° 20'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>133° 20' ~133° 50'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
16	<u>133° 20'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>133° 20' ~133° 50'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>
17	<u>132° 50'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>132° 50' ~133° 20'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
18	<u>132° 50'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>132° 50' ~133° 20'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>
19	<u>132° 50'</u>	<u>33° 20'</u>	<u>132° 50' ~133° 20'</u>	<u>32° 55' ~33° 20'</u>	<u>〃</u>
20	<u>132° 50'</u>	<u>32° 55'</u>	<u>132° 50' ~133° 20'</u>	<u>32° 30' ~32° 55'</u>	<u>〃</u>
21	<u>132° 20'</u>	<u>33° 20'</u>	<u>132° 20' ~132° 50'</u>	<u>32° 55' ~33° 20'</u>	<u>〃</u>
22	<u>132° 20'</u>	<u>32° 55'</u>	<u>132° 20' ~132° 50'</u>	<u>32° 30' ~32° 55'</u>	<u>〃</u>
23	<u>133° 20'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>133° 20' ~133° 50'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	愛媛県
24	<u>132° 50'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>132° 50' ~133° 20'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
25	<u>132° 50'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>132° 50' ~133° 20'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>
26	<u>132° 20'</u>	<u>34° 10'</u>	<u>132° 20' ~132° 50'</u>	<u>33° 45' ~34° 10'</u>	<u>〃</u>
27	<u>132° 20'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>132° 20' ~132° 50'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>
28	<u>132° 20'</u>	<u>33° 20'</u>	<u>132° 20' ~132° 50'</u>	<u>32° 55' ~33° 20'</u>	<u>〃</u>
29	<u>131° 50'</u>	<u>33° 45'</u>	<u>131° 50' ~132° 20'</u>	<u>33° 20' ~33° 45'</u>	<u>〃</u>

九州総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>130° 07'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	福岡県
02	<u>130° 37'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
03	<u>130° 07'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
04	<u>130° 37'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
05	<u>130° 07'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
06	<u>130° 37'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
07	<u>129° 37'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>

08	<u>131° 07'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
09	<u>130° 37'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	大分県
10	<u>131° 07'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
11	<u>131° 07'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
12	<u>131° 37'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>131° 37' ~132° 07'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
13	<u>131° 37'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>131° 37' ~132° 07'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
14	<u>130° 37'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
15	<u>131° 07'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
16	<u>131° 37'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>131° 37' ~132° 07'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
17	<u>131° 07'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
18	<u>131° 37'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>131° 37' ~132° 07'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
19	<u>131° 07'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	宮崎県
20	<u>131° 37'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>131° 37' ~132° 07'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
21	<u>130° 37'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
22	<u>130° 37'</u>	<u>32° 25'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 00' ~32° 25'</u>	<u>〃</u>
23	<u>131° 07'</u>	<u>32° 25'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>32° 00' ~32° 25'</u>	<u>〃</u>
24	<u>130° 37'</u>	<u>32° 00'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>31° 35' ~32° 00'</u>	<u>〃</u>
25	<u>131° 07'</u>	<u>32° 00'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>31° 35' ~32° 00'</u>	<u>〃</u>
26	<u>131° 07'</u>	<u>31° 35'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>31° 10' ~31° 35'</u>	<u>〃</u>
27	<u>129° 37'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	佐賀県
28	<u>130° 07'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
29	<u>129° 37'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
30	<u>130° 07'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
31	<u>130° 07'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	熊本県
32	<u>130° 37'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
33	<u>131° 07'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
34	<u>130° 07'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
35	<u>129° 37'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
36	<u>129° 37'</u>	<u>32° 25'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>32° 00' ~32° 25'</u>	<u>〃</u>
37	<u>130° 07'</u>	<u>32° 25'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 00' ~32° 25'</u>	<u>〃</u>
38	<u>130° 37'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
39	<u>130° 37'</u>	<u>32° 25'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 00' ~32° 25'</u>	<u>〃</u>
40	<u>130° 07'</u>	<u>32° 25'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 00' ~32° 25'</u>	鹿児島県

41	<u>130° 37'</u>	<u>32° 25'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>32° 00' ~32° 25'</u>	<u>〃</u>
42	<u>130° 07'</u>	<u>32° 00'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>31° 35' ~32° 00'</u>	<u>〃</u>
43	<u>130° 37'</u>	<u>32° 00'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>31° 35' ~32° 00'</u>	<u>〃</u>
44	<u>131° 07'</u>	<u>32° 00'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>31° 35' ~32° 00'</u>	<u>〃</u>
45	<u>130° 07'</u>	<u>31° 35'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>31° 10' ~31° 35'</u>	<u>〃</u>
46	<u>130° 37'</u>	<u>31° 35'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>31° 10' ~31° 35'</u>	<u>〃</u>
47	<u>130° 37'</u>	<u>31° 10'</u>	<u>130° 37' ~131° 07'</u>	<u>30° 45' ~31° 10'</u>	<u>〃</u>
48	<u>129° 37'</u>	<u>32° 00'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>31° 35' ~32° 00'</u>	<u>〃</u>
49	<u>131° 07'</u>	<u>31° 35'</u>	<u>131° 07' ~131° 37'</u>	<u>31° 10' ~31° 35'</u>	<u>〃</u>
50	<u>129° 07'</u>	<u>34° 55'</u>	<u>129° 07' ~129° 37'</u>	<u>34° 30' ~34° 55'</u>	長崎県
51	<u>129° 07'</u>	<u>34° 30'</u>	<u>129° 07' ~129° 37'</u>	<u>34° 05' ~34° 30'</u>	<u>〃</u>
52	<u>129° 37'</u>	<u>34° 05'</u>	<u>139° 37' ~130° 07'</u>	<u>33° 40' ~34° 05'</u>	<u>〃</u>
53	<u>129° 37'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
54	<u>129° 07'</u>	<u>33° 40'</u>	<u>129° 07' ~129° 37'</u>	<u>33° 15' ~33° 40'</u>	<u>〃</u>
55	<u>128° 37'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>128° 37' ~129° 07'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
56	<u>129° 07'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>129° 07' ~129° 37'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
57	<u>129° 37'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
58	<u>130° 07'</u>	<u>33° 15'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 50' ~33° 15'</u>	<u>〃</u>
59	<u>128° 37'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>128° 37' ~129° 07'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
60	<u>129° 37'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>129° 37' ~130° 07'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>
61	<u>130° 07'</u>	<u>32° 50'</u>	<u>130° 07' ~130° 37'</u>	<u>32° 25' ~32° 50'</u>	<u>〃</u>

東北総合通信局管内

地域信号	基準点		地域信号の範囲		地域信号に対応する県名
	東経	北緯	東経	北緯	
01	<u>140° 37'</u>	<u>41° 50'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>41° 25' ~41° 50'</u>	青森県
02	<u>140° 07'</u>	<u>41° 25'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>41° 00' ~41° 25'</u>	<u>〃</u>
03	<u>140° 37'</u>	<u>41° 25'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>41° 00' ~41° 25'</u>	<u>〃</u>
04	<u>141° 07'</u>	<u>41° 25'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>41° 00' ~41° 25'</u>	<u>〃</u>
05	<u>139° 37'</u>	<u>41° 00'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>40° 35' ~41° 00'</u>	<u>〃</u>
06	<u>140° 07'</u>	<u>41° 00'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>40° 35' ~41° 00'</u>	<u>〃</u>
07	<u>140° 37'</u>	<u>41° 00'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>40° 35' ~41° 00'</u>	<u>〃</u>
08	<u>141° 07'</u>	<u>41° 00'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>40° 35' ~41° 00'</u>	<u>〃</u>

09	<u>139° 37'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
10	<u>140° 07'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
11	<u>140° 37'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
12	<u>141° 07'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
13	<u>141° 37'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>141° 37' ~142° 07'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
14	<u>139° 37'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	秋田県
15	<u>140° 07'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
16	<u>140° 37'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
17	<u>139° 37'</u>	<u>40° 10'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>39° 45' ~40° 10'</u>	<u>〃</u>
18	<u>140° 07'</u>	<u>40° 10'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>39° 45' ~40° 10'</u>	<u>〃</u>
19	<u>140° 37'</u>	<u>40° 10'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>39° 45' ~40° 10'</u>	<u>〃</u>
20	<u>139° 37'</u>	<u>39° 45'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>39° 20' ~39° 45'</u>	<u>〃</u>
21	<u>140° 07'</u>	<u>39° 45'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>39° 20' ~39° 45'</u>	<u>〃</u>
22	<u>140° 37'</u>	<u>39° 45'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>39° 20' ~39° 45'</u>	<u>〃</u>
23	<u>139° 37'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
24	<u>140° 07'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
25	<u>140° 37'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
26	<u>140° 37'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	岩手県
27	<u>141° 07'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
28	<u>141° 37'</u>	<u>40° 35'</u>	<u>141° 37' ~142° 07'</u>	<u>40° 10' ~40° 35'</u>	<u>〃</u>
29	<u>140° 37'</u>	<u>40° 10'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>39° 45' ~40° 10'</u>	<u>〃</u>
30	<u>141° 07'</u>	<u>40° 10'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>39° 45' ~40° 10'</u>	<u>〃</u>
31	<u>141° 37'</u>	<u>40° 10'</u>	<u>141° 37' ~142° 07'</u>	<u>39° 45' ~40° 10'</u>	<u>〃</u>
32	<u>140° 37'</u>	<u>39° 45'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>39° 20' ~39° 45'</u>	<u>〃</u>
33	<u>141° 07'</u>	<u>39° 45'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>39° 20' ~39° 45'</u>	<u>〃</u>
34	<u>141° 37'</u>	<u>39° 45'</u>	<u>141° 37' ~142° 07'</u>	<u>39° 20' ~39° 45'</u>	<u>〃</u>
35	<u>140° 37'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
36	<u>141° 07'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
37	<u>141° 37'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>141° 37' ~142° 07'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
38	<u>140° 37'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
39	<u>141° 07'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
40	<u>139° 37'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	山形県
41	<u>140° 07'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>

42	<u>139° 07'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>139° 07' ~139° 37'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
43	<u>139° 37'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
44	<u>140° 07'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
45	<u>139° 37'</u>	<u>38° 30'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>38° 05' ~38° 30'</u>	<u>〃</u>
46	<u>140° 07'</u>	<u>38° 30'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>38° 05' ~38° 30'</u>	<u>〃</u>
47	<u>139° 37'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>37° 45' ~38° 05'</u>	<u>〃</u>
48	<u>140° 07'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>37° 45' ~38° 05'</u>	<u>〃</u>
49	<u>140° 37'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	宮城県
50	<u>140° 07'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
51	<u>140° 37'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
52	<u>141° 07'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
53	<u>141° 37'</u>	<u>39° 20'</u>	<u>141° 37' ~142° 07'</u>	<u>38° 55' ~39° 20'</u>	<u>〃</u>
54	<u>141° 07'</u>	<u>38° 55'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>38° 30' ~38° 55'</u>	<u>〃</u>
55	<u>140° 07'</u>	<u>38° 30'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>38° 05' ~38° 30'</u>	<u>〃</u>
56	<u>140° 37'</u>	<u>38° 30'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>38° 05' ~38° 30'</u>	<u>〃</u>
57	<u>141° 37'</u>	<u>38° 30'</u>	<u>141° 07' ~141° 37'</u>	<u>38° 05' ~38° 30'</u>	<u>〃</u>
58	<u>140° 07'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>141° 07' ~140° 37'</u>	<u>37° 40' ~38° 05'</u>	<u>〃</u>
59	<u>140° 37'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>37° 40' ~38° 05'</u>	<u>〃</u>
60	<u>139° 07'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>139° 07' ~139° 37'</u>	<u>37° 40' ~38° 05'</u>	福島県
61	<u>139° 37'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>37° 40' ~38° 05'</u>	<u>〃</u>
62	<u>140° 07'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>37° 40' ~38° 05'</u>	<u>〃</u>
63	<u>140° 37'</u>	<u>38° 05'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>37° 40' ~38° 05'</u>	<u>〃</u>
64	<u>139° 07'</u>	<u>37° 40'</u>	<u>139° 07' ~139° 37'</u>	<u>37° 15' ~37° 40'</u>	<u>〃</u>
65	<u>139° 37'</u>	<u>37° 40'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>37° 15' ~37° 40'</u>	<u>〃</u>
66	<u>140° 07'</u>	<u>37° 40'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>37° 15' ~37° 40'</u>	<u>〃</u>
67	<u>140° 37'</u>	<u>37° 40'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>37° 15' ~37° 40'</u>	<u>〃</u>
68	<u>139° 07'</u>	<u>37° 15'</u>	<u>139° 07' ~139° 37'</u>	<u>36° 50' ~37° 15'</u>	<u>〃</u>
69	<u>139° 37'</u>	<u>37° 15'</u>	<u>139° 37' ~140° 07'</u>	<u>36° 50' ~37° 15'</u>	<u>〃</u>
70	<u>140° 37'</u>	<u>37° 15'</u>	<u>140° 07' ~140° 37'</u>	<u>36° 50' ~37° 15'</u>	<u>〃</u>
71	<u>140° 37'</u>	<u>37° 15'</u>	<u>140° 37' ~141° 07'</u>	<u>36° 50' ~37° 15'</u>	<u>〃</u>
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--

19	<u>142° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
20	<u>142° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
21	<u>142° 35'</u>	<u>44° 55'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>44° 30' ~44° 55'</u>	網走支庁
22	<u>142° 35'</u>	<u>44° 30'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>44° 05' ~44° 30'</u>	<u>〃</u>
23	<u>143° 05'</u>	<u>44° 30'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>44° 05' ~44° 30'</u>	<u>〃</u>
24	<u>143° 35'</u>	<u>44° 30'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>44° 05' ~44° 30'</u>	<u>〃</u>
25	<u>142° 35'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
26	<u>143° 05'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
27	<u>143° 35'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
28	<u>144° 05'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>144° 05' ~144° 35'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
29	<u>144° 35'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>144° 35' ~145° 05'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
30	<u>143° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
31	<u>143° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
32	<u>144° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>144° 05' ~144° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
33	<u>144° 35'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>144° 35' ~145° 05'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	根室支庁
34	<u>145° 05'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>145° 05' ~145° 35'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
35	<u>144° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>144° 35' ~145° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
36	<u>145° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>145° 05' ~145° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
37	<u>145° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>145° 35' ~146° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
38	<u>142° 05'</u>	<u>44° 30'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>44° 05' ~44° 30'</u>	空知支庁
39	<u>141° 35'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>141° 35' ~142° 05'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
40	<u>142° 05'</u>	<u>44° 05'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>43° 40' ~44° 05'</u>	<u>〃</u>
41	<u>141° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>141° 35' ~142° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
42	<u>142° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
43	<u>141° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>141° 35' ~142° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
44	<u>142° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
45	<u>142° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	十勝支庁
46	<u>143° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
47	<u>143° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
48	<u>142° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
49	<u>143° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
50	<u>143° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
51	<u>142° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>

52	<u>143° 05'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
53	<u>143° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
54	<u>143° 05'</u>	<u>42° 25'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>42° 00' ~42° 25'</u>	<u>〃</u>
55	<u>143° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	釧路支庁
56	<u>144° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>144° 05' ~144° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
57	<u>144° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>144° 35' ~145° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
58	<u>143° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>143° 35' ~144° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
59	<u>144° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>144° 05' ~144° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
60	<u>144° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>144° 35' ~145° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
61	<u>145° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>145° 05' ~145° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
62	<u>141° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>141° 05' ~141° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	石狩支庁
63	<u>141° 35'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>141° 35' ~142° 05'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	<u>〃</u>
64	<u>141° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>141° 05' ~141° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
65	<u>141° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>141° 35' ~142° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
66	<u>141° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>141° 35' ~142° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
67	<u>141° 05'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>141° 05' ~141° 35'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
68	<u>140° 05'</u>	<u>43° 40'</u>	<u>140° 05' ~140° 35'</u>	<u>43° 15' ~43° 40'</u>	後志支庁
69	<u>140° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>140° 05' ~140° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
70	<u>140° 35'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>140° 35' ~141° 05'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
71	<u>140° 05'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>140° 05' ~140° 35'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
72	<u>140° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>140° 35' ~141° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
73	<u>140° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>140° 35' ~141° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	胆振支庁
74	<u>141° 05'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>141° 05' ~141° 35'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
75	<u>141° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>141° 35' ~142° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
76	<u>142° 05'</u>	<u>43° 15'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>42° 50' ~43° 15'</u>	<u>〃</u>
77	<u>142° 05'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
78	<u>142° 05'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	日高支庁
79	<u>142° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	<u>〃</u>
80	<u>142° 05'</u>	<u>42° 25'</u>	<u>142° 05' ~142° 35'</u>	<u>42° 00' ~42° 25'</u>	<u>〃</u>
81	<u>142° 35'</u>	<u>42° 25'</u>	<u>142° 35' ~143° 05'</u>	<u>42° 00' ~42° 25'</u>	<u>〃</u>
82	<u>143° 05'</u>	<u>42° 25'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>42° 00' ~42° 25'</u>	<u>〃</u>
83	<u>143° 05'</u>	<u>42° 00'</u>	<u>143° 05' ~143° 35'</u>	<u>41° 35' ~42° 00'</u>	<u>〃</u>
84	<u>139° 35'</u>	<u>42° 50'</u>	<u>139° 35' ~140° 05'</u>	<u>42° 25' ~42° 50'</u>	檜山支庁

(16) 無線標定業務に使用する無線標定陸上局 ((17)から(19)までの局を除く。)

ア 基本的事項

- (7) 使用する周波数帯は、9GHz 帯であること。
- (イ) 通信事項は、無線標定に関する事項であること。

イ 指定事項

- (7) 占有周波数帯幅は、次式により求めること。

$$fB=2k/t$$

fB：占有周波数帯幅(MHz)

k：総合的な数字係数で、通常2とする。

ただし、性能を示す資料によるときは、適性と認められる値とする。

t：パルス幅(μs)

- (イ) 空中線電力は、申請者から当該申請に係る無線局の観測範囲を示す概略図を提出させ、当該観測範囲を満たすために必要最小限の値とすること。

ウ 工事設計

- (ア) 変調方式は、パルス変調であること。
- (イ) パルス繰り返し周波数は、最大測定距離からみて適当なものであること。
- (ウ) パルス幅は、所要の距離分解能からみて適当な値であること。
- (エ) レーダー干渉を除去する機能を有しているものであること。

局種別(3) 通信事項は、無線標定に関する事項であること。ただし、次に掲げるものは、それぞれに掲げる事項であること。

局種別(3)ア 5GHz 帯及び9GHz 帯の周波数の電波を使用するもの無線標定に関する事項

- 局種別(5)カ 占有周波数帯域幅は、次式により求めること。

$$fB=2k/t$$

fB：占有周波数帯域幅(MHz)

t：パルス幅(μs)

k：定数で通常は2とする。

ただし、性能を示す資料によるときは、適性と認められる値とする。

- 局種別(5)オ 空中線電力は、申請者から当該申請に係る無線局の管理水域を示す概略図を提出させ、所要の水域を監視するために必要最小限の値とすること。

局種別(5)ア 変調方式は、パルス変調であること。

局種別(5)イ パルス繰り返し周波数は、最大探知距離からみて適当なものであること。

局種別(5)ウ パルス幅は、所要の距離分解能からみて適当な値であること。

局種別(5)エ レーダー干渉を除去する機能を有しているものであること。

(17) 速度測定並びに交通量及び交通流測定、侵入検知に使用する無線標定陸上局

ア 基本的事項

- (ア) 使用する周波数帯は、10GHz 帯 (10.5GHz を超え 10.55GHz 以下) 又は 24GHz 帯 (24.15GHz を超え 24.25GHz 以下) であること。
- (イ) 測定又は検知の方式は、速度測定並びに交通量及び交通流測定に使用するものにあつてはドップラー方式、侵入検知に使用するものにあつてはドップラー方式又は遮断方式であること。
- (ウ) 通信事項は、無線標定に関する事項又は侵入検知に関する事項であること。

イ 指定事項

指定する占有周波数帯幅は、A2N 電波を使用するものにあつては、次式により求めた値の端数を切り上げ 500kHz の整数倍に整理した値であること。

$$5B+2M$$

注 計算式に使用している記号は、設備規則別表第 2 号第 2 の注に同じ。

ウ 無線設備の工事設計

- (ア) 空中線は、次の条件に適合するものであること。
 - A 屋外に設置されるものは、先鋭な指向特性を有するものであること。
 - B 侵入検知に使用するものは、地面からの高さが 5m 以下であること。ただし、建造物内に設置するもの及び地面からの高さが 5m 超とすべき特別の事由があるものについては、この限りでない。
 - C 速度測定並びに交通量及び交通流測定に使用するものは、地面(高架道路)上に設置する場合は、その路面)からの高さが 8m 以下であること。
- (イ) 無人方式のものにあつては、無線設備に障害が生じた場合に、遠隔操作を行っている設備にその旨を表示することができること。
- (ウ) 可能な限り電波の発射を自動的に停止する機能を有するものであること。

局種別(6) ア 検出又は測定の方式は、侵入検知用にあつてはドップラー方式又は遮断方式であり、速度測定用及び交通量・交通流測定用にあつてはドップラー方式であること。

局種別(3) 通信事項は、無線標定に関する事項であること。ただし、次に掲げるものは、それぞれに掲げる事項であること。

局種別(3)イ 10GHz 帯又は 24GHz 帯の周波数の電波を使用するもの

局種別(3)イ(ア) 侵入検知用のもの 侵入検知に関する事項

局種別(3)イ(イ) 速度測定用のもの (ウ)の速度測定に関する事項

局種別(3)イ(ウ) 交通量・交通流測定用のもの 交通量及び交通流の測定に関する事項

局種別(6) オ A2N 電波を使用するものの占有周波数帯幅の許容値は、次の計算式により計算した値を 500kHz の整数倍に整理した値とすること。

$$5B+2M$$

注 計算式に使用している記号は、設備規則別表第 2 号第 2 の注に同じ。

局種別(6) ウ 空中線は、次の条件に適合するものであること。

局種別(6)ウ(ア) 屋外に設置されるものは、できる限りせん鋭な指向特性を有すること。

局種別(6)ウ(イ) 侵入検知用は、地面からの高さが 5m 以下であること。ただし、建造物内に設置するもの、空中線電力 0.001W 以下のもの及び 5m 以上とすべき特別の事由があるものについては、この限りでない。

局種別(6)ウ(ウ) 速度測定用及び交通量・交通流測定用は、地面(高架道路)上に設置する場合は、その路面)からの高さが 8m 以下であること。

局種別(6)エ 無人方式のものにあつては、無線設備に障害が生じた場合に、その旨を表示することができるとともに、なるべく電波の発射を自動的に停止する機能を有すること。

(18) 踏切道上の障害物検知に使用する無線標定陸上局

ア 基本的事項

- (ア) 使用する周波数帯は、35GHz 帯であること。
- (イ) 電波の遮断効果を利用して、列車が踏切道を通過しようとする場合に障害となる物体を検知し、これを当該踏切道に接近中の当該列車に伝達する装置に伝送するものであること。
- (ウ) 踏切道上に障害物が存在する場合は、連続して検知するものであること。
- (エ) 通信事項は、鉄道・軌道の貨客車の安全運行に関する事項であること。

イ 無線設備の工事設計

(ア) 送受信装置

送信が時分割パルス方式である場合の受信は、同期受信方式のものであること。

(イ) 空中線

- A 地上高は75cmを標準とし、最高部の高さは90cm以下であること。
- B 垂直面指向特性は、路面反射の影響があった場合においても安定した遮断性能が阻害されることがないものであること。

(ウ) 回線構成

- A 踏切道内の検知しようとする場所にある幅1.3m、高さ1.2m及び長さ3m程度の大きさの障害物が検知できるよう設計されているものであること。
- B 電波の放射ビームを構成する送受信空中線の対向距離は、原則として50m以下となるよう設計されているものであること。
- C 同一踏切道内に設置される他の送信装置との間において相互に電波の放射ビームの干渉を避けるよう設計されているものであること。

ウ 伝送の質

(ア) 検知に係る伝送の質

- A 障害物がないときの受信機入力電力は、-35dBmを標準とし、入力レベルが概ね10dB低下することにより、障害物の検知を行うものであること。

局種別(7)ア 障害物の検知方式は、次のとおりであること。

局種別(7)ア(ア) 電波の遮断効果を利用して、列車が踏切道を通過しようとする場合に障害となる物体を検知し、これを当該踏切道に接近中の当該列車に伝達する装置に伝送するものであること。

局種別(7)ア(イ) 踏切道上に障害物が存在する場合は、連続して検知するものであること。

局種別(3) 通信事項は、無線標定に関する事項であること。ただし、次に掲げるものは、それぞれに掲げる事項であること。

局種別(3)ウ 35GHz 帯の周波数の電波を使用するもの
踏切道上の障害物検知に関する事項

局種別(7)ウ(ア) 送受信装置は、次のとおりであること。

局種別(7)ウ(ア)A 送信が時分割パルス方式である場合の受信は、同期受信方式のものであること。

局種別(7)ウ(イ) 空中線装置は、次のとおりであること。

局種別(7)ウ(イ)A 地上高は75cmを標準とし、最高部の高さは90cm以下とし、かつ、障害物を検知するのに適切な高さのものであること。

局種別(7)ウ(イ)B 垂直面指向特性は、路面反射の影響があった場合においても安定した遮断性能が阻害されることがないものであること。

局種別(7)イ 回線構成は、次のとおりであること。

局種別(7)イ(ア) 踏切道内の検知しようとする場所にある幅1.3m、高さ1.2m及び長さ3m程度の大きさの障害物が検知できるよう設計されているものであること。

局種別(7)イ(イ) 電波の放射ビームを構成する送受信空中線の対向距離は、原則として50m以下となるよう設計されているものであること。

局種別(7)イ(ウ) 同一踏切道内に設置される他の送信装置との間において相互に電波の放射ビームの干渉を避けるよう設計されているものであること。

局種別(7)エ 伝送の質は、次のとおりであること。

局種別(7)エ(ア) 障害物がないときの受信機入力電力は、-35dBmを標準とし、入力レベルが概ね10dB低下することにより、障害物の検知を行うものであること。

B Aの受信機入力の電力Prは、次式により求めること。

$$Pr = Pt - (LP + Lf) + GAt + GAr$$

Pr : 受信機入力 (dBm)

Pt : 送信電力 (dBm)

LP : 伝搬損失 (dB)

Lf : 給電線損失 (dB)

GAt : 送信空中線利得 (dBi)

GAr : 受信空中線利得 (dBi)

(イ) 混信保護

混信保護の検討は、次によるものであること。

A 受信機入力における所要D/Uは、次の値を標準とすること。

(A) 同一周波数の場合 10dB

(B) 異なる周波数の場合 (10-Ls)dB

Ls : 受信フィルタによる減衰量

B 受信機入力における所要D/Uを次により計算し、Aの所要D/Uを満足すること。

$$D/U = D - U$$

D : 標準受信レベル (dBm)

U : 妨害波入力レベル (dBm)

$$U = Pt' - (Lf' + Lp') + (GAt \theta + GAr \theta) - DP$$

Pt' : 与干渉局の送信電力 (dBm)

Lf' : 与干渉局と被干渉局の給電線損失 (dB)

Lp' : 与干渉局と被干渉局間の伝搬損失 (dB)

GAt \theta : 与干渉局の被干渉局方向に対する空中線利得 (dBi)

GAr \theta : 被干渉局の与干渉局方向に対する空中線利得 (dBi)

DP : 交差偏波識別度に対する改善量 (dB)

こと。ただし、設置場所、環境条件等を考慮の上必要がある場合は、この限りでない。

局種別(7)エ(イ) (ア)の受信機入力の電力Prは、次式により求めること。

$$Pr = Pt - (LP + Lf) + GAt + GAr$$

局種別(7)オ 混信保護は、次のとおりであること。

局種別(7)オ(ア) 受信機入力における所要D/Uは、次の値を標準とすること。

局種別(7)オ(ア)A 同一周波数の場合 10dB

局種別(7)オ(ア)B 異なる周波数の場合 (10-Ls)dB

Ls : 受信フィルタによる減衰量

局種別(7)オ(イ) 受信機入力におけるD/Uを次により計算し、(ア)の所要D/Uを満足すること。

$$D/U = D - U$$

局種別(7)オ(イ)A $U = Pt' - (Lf' + Lp') + (GAt \theta + GAr \theta) - DP$

U : 妨害波入力レベル (dBm)

(19) 気象観測に使用する無線標定陸上局

ア 気象観測に使用するものであって、上空の風を観測するもの（ウィンドプロファイラレーダーの局）

(7) 基本的事項

A 使用する周波数帯は、1.3G帯（1352.5MHzを超え1362.5MHz以下）であること。

B レーダーの方式は、散乱波のドップラー周波数の変動を検知する方式であって、SPAN0符号方式（一のパルスにおいて位相変調により符号情報を重畳する方式をいう。以下同じ。）を使用するものであること。

C 無線局の目的

次のいずれかを目的とするものであること。

- (A) 気象用
- (B) 水防用
- (C) 水防道路用
- (D) 防災行政用
- (E) 電気事業用
- (F) 無線標定業務用

D 通信事項

次のいずれかを通信事項とするものであること。

- (A) 気象業務に関する事項（気象警報に関する事項を除く。）
- (B) 気象警報に関する事項
- (C) 気象観測実験に関する事項
- (D) 水防事務に関する事項
- (E) 災害対策・水防に関する事項
- (F) 防災行政事務に関する事項
- (G) 無線標定に関する事項

(イ) 無線設備の工事設計

A 空中線

(A) 空中線の主ビームの動作範囲は、天頂を0度とした角度（以下「天頂角」という。）において-15度以上15度以下の範囲であること。

(B) 主ビームの動作範囲にかかわらず、絶対利得は次のとおりであること。

<u>天頂角 60度以上 85度未満</u>	<u>12dBi 以下</u>
<u>天頂角 85度以上 90度以下</u>	<u>0dBi 以下</u>

(C) 空中線地上高は、2.5m以下であること。

B 受信設備

(A) 標準受信感度は、-113dBm以上であること。

(B) SPAN0 符号方式を用いて検出できる最低受信信号レベルは、-164dBm以上であること。

C 付属装置

(A) 干渉波を 30dB 以上減衰させる干渉除去機能を有するものであること。

(B) GPS 等による信号を用いることで、異なるウィンドプロファイラレーダー間の周波数同期及び時間同期をとる機能を有するものであること。

D その他

次の条件を満たす側方放射防止のフェンス（以下「クラッターフェンス」という。）を設備していること。

(A) 空中線の地上高より 1m 以上高いものであること。

(B) 最も近い空中線からの離隔距離は 3m 以下であること。

(C) 18dB 以上の遮蔽効果を有するものであること。

(7) 伝送の質

A 伝送の質は、次式を満足すること。

$$Pr+S > Sstd$$

Pr : 受信電力 (dBm)

$$Pr = Pt - 2(Ls + Lf) + 2GA + 10 \log V_s + 10 \log \eta_A - 40 \log H_{max} + 20 \log \lambda - 30 \log (4\pi)$$

Pt : 送信電力 (dBm)

Ls : 伝搬に関する付加損失 (dB) (降雨及び水蒸気等吸収等)

Lf : 給電線損失 (dB) (レドーム損失等を含む。)

GA : 空中線利得 (dBi)

Vs : 散乱体積 (m³)

$$Vs = \pi \cdot Tp \cdot c \cdot H_{max}^2 \cdot \theta^2 / (16 \cdot \ln(2))$$

Tp : パルス幅 (s)

c : 光速 (m/s)

Hmax : 最大の観測高度 (m)

\theta : 主ビーム幅 (rad)

\eta_A : 大気レーダー反射率 (m²/m³)

$$\eta_A = 0.38 \cdot Cn^2 \cdot \lambda^{-1/3}$$

Cn^2 : 大気屈折率構造パラメータ ($m^{2/3}$)

$$= 10^{(-0.000276 \cdot H_{max} - 13.862)}$$

λ : 使用する電波の波長(m)

S : SPAN0 符号方式による SNR (Signal to Noise Ratio をいう。以下同じ。) 改善量(dB)として、通常 35dB とすること。

Sstd : 標準受信感度(dBm)

B 混信保護は、次の(A)又は(B)のいずれかを満足するものであること。ただし、与干渉局の免許人と被干渉局の免許人との間で調整が行われた場合は、この限りでない。

(A) 無線局間の離隔距離が次を満足するものであること。

a 周波数が同一の局との離隔距離 24km 以上

b 周波数が異なる局との離隔距離 8km 以上

(B) 伝搬波による混信保護は、次の a 及び b のいずれも満足するものであること。

a 陸上伝搬波による混信保護

陸上伝搬波による混信保護は、次式を満足すること。

$$Pr1 + S1 - I_{ima} < Sstd'$$

Pr1 : 陸上伝搬波による被干渉局の干渉波受信電力 (dBm)

$$Pr1 = Pt' - (Lp' + Lf' + Le + Lct + Lcr) + (GAt \theta + GAr \theta) + \sigma 1$$

Pt' : 与干渉局の送信電力(dBm)

Lp' : 与干渉局と被干渉局間の伝搬損失(dB) (自由空間伝搬損失及び地形等の遮蔽による損失の合計値)

Lf' : 与干渉局及び被干渉局の給電線損失(dB) (レドーム損失等を含む。)

Le : 周波数離調による減衰量として、次の値とすること。

周波数が同一の場合 0dB

周波数が異なる場合 20dB

Lct : 与干渉局に設置されたクラッターフェンスの遮蔽損失(dB)として、4dB とすること。

Lcr : 被干渉局に設置されたクラッターフェンスの遮蔽損失

(dB)として、18dB とすること。

GAt θ : 与干渉局の被干渉局方向に対する空中線利得(dBi)

GAr θ : 被干渉局の与干渉局方向に対する空中線利得(dBi)

$\sigma 1$: 伝搬マージン(dB)として、10.2dB とすること。

S1:被干渉局のSPAN0符号方式によるSNR改善量(dB)として、51dB とすること。

Iima : 被干渉局の干渉除去機能による減衰量(dB)として、30dB とすること。

Sstd' : 被干渉局の標準受信感度(dBm)として、-113dBm とすること。

b 降雨時の上空伝搬散乱波による混信保護

降雨時の上空伝搬散乱波による混信保護は、次式を満足すること。

Pr2+S2 < Sstd'

Pr2:降雨時の上空伝搬錯乱波による被干渉局の干渉波受信電力 (dBm)

Pr2=Pt' - (Ls' +Lf')+(GAt+GAr θ)+10logVs+

10log η_R -40logH_R+20log λ -30log(4 π)+ $\sigma 2$

Ls' : 与干渉局と被干渉局間の伝搬に関する付加損失(dB)
(降雨及び水蒸気等吸収)

GAt : 与干渉局の空中線利得(dBi)

GAr θ : 降雨時の上空伝搬散乱波の到来方向に対する被干渉局の空中線利得(dBi)として、次の値とすること。

被干渉局と与干渉局との離隔距離が2km 以上の場合

12dBi

被干渉局と与干渉局との離隔距離が2km 未満の場合

30dBi

η_R : 降雨レーダー反射率(m²/m³)

$\eta_R = \pi^5 \cdot K^2 \cdot Z / \lambda^2$

K² : 反射定数として、0.93 とすること。

Z : 反射因子(m⁶/m³)

Z=200 · R^{1.6} · 10⁻¹⁸

R : 降雨強度(mm/h)として、20mm/h とすること。

H_R : 降雨時の上空伝搬散乱波の散乱点の高度(m)として、3000m とすること。

σ2 : 降雨マージン(dB)として、6.7dB とすること。

S2:被干渉局の SPANO 符号方式による SNR 改善量(dB)として、30dB とすること。

(エ) 他のシステムに対する混信その他妨害の防止

A 航空路監視レーダー (ARSR) に対する混信の防止

ARSR の半径 30 km 以内に設置する場合は、事前に ARSR の免許人と調整すること。

B 他の無線システム (ARSR を除く。以下この(19)において同じ。) に対する混信の防止

他の無線システムに対する与干渉については、他の無線システムの被干渉に係る審査の基準に照らしてその運用に重大な支障を与えないものであること。ただし、他の無線システムの免許人との間で調整が行われた場合は、この限りでない。

C BS 放送の受信に対する妨害の防止

1. 3GHz 帯は、BS 放送受信設備の中間周波数帯と重なることから、BS 放送の受信を妨害した場合は、必要に応じて送信電力の制限等の対策を講じること。

また、周波数の指定の際には、「この周波数の使用は、BS 放送受信設備に妨害を与えない場合に限る。」旨の付款を付すこと。

イ 気象観測に使用するものであって、アに規定する以外のもの

(7) 基本的事項

A 使用する周波数帯は、5GHz 帯 (5250MHz を超え 5372.5MHz 以下) 又は 9.7GHz 帯 (9700MHz を超え 9800MHz 以下) であること。

B レーダーの方式は、次のいずれかであること。

(A) 周波数オフセットパルス方式(概ね30 μ 秒以上400 μ 秒以下のパルス(以下「長パルス」という。)及び概ね1 μ 秒以上5 μ 秒以下のパルス(以下「短パルス」という。))を送信するものであって、長パルス及び短パルスは指定周波数から概ね \pm 1.25MHzにそれぞれ変位(オフセット)した周波数により送信する方式をいう。以下同じ。)

(B) 単一のパルス方式

(C) 単一のパルスの期間内に搬送波を角度変調する方式(周波数オフセットパルス方式を除く。)

C 無線局の目的

(A) 5GHz 帯

次のいずれかを目的とするものであること。

a 気象用

b 水防道路用

c 電気事業用

(B) 9.7GHz 帯

次のいずれかを目的とするものであること。

a 気象用

b 水防用

c 水防道路用

d 防災行政用

e 電気事業用

f 無線標定業務用

D 通信事項

(A) 5GHz 帯

次のいずれかを通信事項とするものであること。

a 気象業務に関する事項(気象業務法第3条に規定する気象観測に関する場合に限る。)

b 災害対策・水防に関する事項

c 無線標定に関する事項(電気事業法第2条第1項第9号に規定する

電気事業に関する場合に限る。)

(B) 9.7GHz 帯

次のいずれかを通信事項とするものであること。

- a 気象業務に関する事項 (気象警報に関する事項を除く。)
- b 気象警報に関する事項
- c 気象観測実験に関する事項
- d 水防事務に関する事項
- e 災害対策・水防に関する事項
- f 防災行政事務に関する事項
- g 無線標定に関する事項

(イ) 指定事項

A 周波数

指定する周波数は、別紙(19)-1に定めるものであること。

B 空中線電力

指定する空中線電力は、次によること。

(A) 5GHz 帯

- a 周波数オフセットパルス方式のもの 10kW 以下
- b a以外の方式のもの 250kW 以下

(B) 9.7GHz 帯

- a 周波数オフセットパルス方式のもの 10kW 以下
- b a以外の方式のもの 100kW 以下

C 電波の型式

指定する電波の型式は、次のいずれかであること。

- (A) 周波数オフセットパルス方式のもの VON
- (B) 単一のパルス方式のもの PON
- (C) 単一のパルスの期間内に搬送波を角度変調する方式 (周波数オフセットパルス方式を除く。)のもの QON

D 占有周波数帯幅

指定する占有周波数帯幅は、4.4MHz 以下であること。

(ウ) 無線設備の工事設計

A 送信設備

- (A) 等価等方輻射電力は、別紙(19)-2に定める上限値を超えないものであること。
- (B) 周波数オフセットパルス方式において、オフセット種別 (H配置 (指

定周波数に対して長パルスを高い周波数に変位して発射することをいう。以下同じ。) 又は L 配置 (指定周波数に対して長パルスを低い周波数に変位して発射することをいう。以下同じ。) かの別をいう。) は、L 配置であること。ただし、他の無線局との干渉の軽減が見込まれる場合や各配置による運用が必要と認められる場合は、H 配置とすることができる。

(C) 送信方位制限機能

特定の方向に対する電波の発射を停止し、又は特定の方向に対する送信電力を制限できる機能を有するものであること。

(D) 送信フィルタ

a 5GHz 帯

(a) 高性能送信フィルタ (指定周波数から 5MHz 離れたチャンネルについて 20dB 程度、指定周波数から 10MHz 以上離れたチャンネルについて 30dB 程度減衰するものをいう。) を有するものについては、混信保護の検討の際にその改善量を考慮するものとする。

(b) 基本送信フィルタ (指定周波数から 5MHz 離れたチャンネルについて 10dB 程度、指定周波数から 10MHz 以上離れたチャンネルについて 20dB 程度減衰するものをいう。) を有するものについては、混信保護の検討の際にその改善量を考慮するものとする。

b 9.7GHz 帯

高性能送信フィルタ (指定周波数から 5MHz 離れたチャンネルについて 5 dB 程度、指定周波数から 10MHz 以上離れたチャンネルについて 20dB 程度減衰するものをいう。) を有するものについては、混信保護の検討の際にその改善量を考慮するものとする。

B 受信設備

(A) 送信空中線と同一の空中線を使用するものであること。

(B) 高性能受信フィルタ (指定周波数から 5MHz 以上離れたチャンネルについて 30dB 程度減衰するものをいう。) を有するものについては、混信保護の検討の際にその改善量を考慮するものとする。

(C) 付属装置

a 周波数オフセットパルス方式のもの

高性能干渉除去機能 ((a) から (c) までの処理をいずれも行うことにより、干渉波を 35dB 以上減衰させる機能をいう。) 又はこれに相当する干渉除去機能を有するものであること。

- (a) 極座標画像孤立点処理 (極座標系の画像を描画する段階において、孤立している信号を除去することをいう。以下同じ。)
- (b) 多反射区間平均化処理 (5以上のパルスそれぞれの反射信号を距離ごとに平均化するものをいう。以下同じ。)
- (c) 干渉波情報参照除去処理 (他のレーダーの干渉波を観測し、得られた周期等の情報を元に干渉波を推定して除去することをいう。)

b a以外の方式のもの

基本干渉除去機能 ((a)から(c)までの処理をいずれも行うことにより、干渉波を 10dB 以上減衰させる機能をいう。) 又はこれに相当する干渉除去機能を有するものであること。

- (a) 極座標画像孤立点処理
- (b) 多反射区間平均化処理
- (c) 3反射区間孤立点除去処理 (3つのパルスそれぞれの反射信号を距離ごとに比較して孤立している信号を除去することをいう。)

(エ) 伝送の質

A 伝送の質は、次式を満足すること。

Pr > Smin

Pr : 受信電力 (dBm)

$$Pr = Pt - 2(Ls + Lf) + 2GA + 10 \log \sigma - 40 \log R + 20 \log \lambda - 30 \log (4\pi)$$

Pt : 送信電力 (dBm)

Ls : 伝搬に関する付加損失 (dB) (降雨及び水蒸気等吸収)

Lf : 給電線損失 (dB) (レドーム損失等を含む。)

GA : 空中線利得 (dBi)

σ : 目標の有効反射面積 (m²)

R : 最大測定距離 (m)

λ : 使用する電波の波長 (m)

Smin : 受信機雑音電力 (dBm)

B 混信保護

混信保護の検討は、次式により行うこととし、被干渉局の干渉波受信電力 Pr' が次の(A)又は(B)の値を満足すること。ただし、与干渉局の免許人と被干渉局の免許人との間で調整が行われた場合は、この限りでない。

(A) 周波数オフセットパルス方式のもの -75dBm 以下

(B) (A)以外の方式のもの -100dBm 以下

$$Pr' = Pt' - (Lp' + Lf' + Le') + (GAt \theta + GAr)$$

Pr' : 被干渉局の干渉波受信電力 (dBm)

Pt' : 与干渉局の送信電力 (dBm)

Lp' : 与干渉局と被干渉局間の伝搬損失 (dB) (自由空間伝搬損失及び地形等の遮蔽による損失の合計値)

Lf' : 与干渉局及び被干渉局の給電線損失 (dB) (レドーム損失等を含む。)

Le : 周波数離調による減衰量 (dB)

GAt θ : 与干渉局の空中線利得 (dBi) であつて、主指向方向から 15 度以上離隔した方向における最大利得

GAr : 被干渉局の空中線利得 (dBi)

(オ) 他のシステムに対する混信その他妨害の防止

A 他の無線システムに対する与干渉については、他の無線システムの被干渉に係る審査の基準に照らしてその運用に重大な支障を与えないものであること。ただし、他の無線システムの免許人との間で調整が行われた場合は、この限りでない。

B CS 放送の受信に対する妨害の防止

9.7GHz 帯は、CS 放送の受信にイメージ妨害を引き起こす周波数帯であることから、申請者があらかじめイメージ妨害の可能性のある領域を確認し、当該領域の住宅等への発射を可能な限り制限するよう運用するとともに、CS 放送の受信を妨害した場合は、必要に応じて送信電力の制限等の対策を講じること。

また、周波数の指定の際には、「この周波数の使用は、CS 放送受信設備に妨害を与えない場合に限る。」旨の付款を付すこと。

別紙(19)-1 気象レーダーに割り当てる周波数

(別紙2-1)

別紙(19)-2 気象レーダーの等価等方輻射電力の上限值

(別紙2-2)

4 (略)

第3～第5 (略)

4 (略)

第3～第5 (略)

附則(平成25年 月 日 総務省訓令第 号)

この訓令は、平成25年 月 日から施行する。

(別紙 2 - 1)

別紙(19)-1 気象レーダーに割り当てる周波数

1 5GHz 帯気象レーダーに割り当てる周波数

チャンネル番号	中心周波数(MHz)	備考	
	CH1'	5260	注
	CH2'	5270	注
	CH3'	5280	注
	CH4'	5290	注
	CH5'	5300	注
	CH6'	5310	注
	CH7'	5320	注
CH1		5330	
	CH8'	5332.5	注
CH2		5335	
	CH9'	5337.5	注
CH3		5340	
	CH10'	5342.5	注
CH4		5345	
	CH11'	5347.5	注
CH5		5350	
	CH12'	5352.5	注
CH6		5355	
	CH13'	5357.5	注
CH7		5360	
	CH14'	5362.5	注
CH8		5365	
	CH15'	5367.5	注
CH9		5370	

注 この周波数は、CH1 から 9 までの割当てができない場合に限り割り当てることができる。

2 9.7GHz 帯気象レーダーに割り当てる周波数

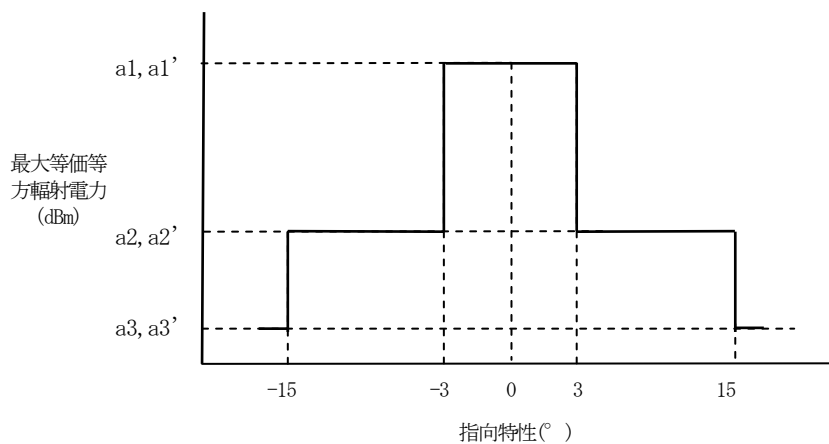
チャンネル番号	中心周波数(MHz)	備考
CH1	9705	注
CH2	9710	注
CH3	9715	注
CH4	9720	注
CH5	9725	注
CH6	9730	注
CH7	9735	注
CH8	9740	注
CH9	9745	注
CH10	9750	注
CH11	9755	注
CH12	9760	注
CH13	9765	注
CH14	9770	注
CH15	9775	注
CH16	9780	注
CH17	9785	注
CH18	9790	注
CH19	9795	注

注 この周波数の使用は、CS 放送受信設備に妨害を与えない場合に限る。

(別紙2-2)

別紙(19)-2 気象レーダーの等価等方輻射電力の上限値

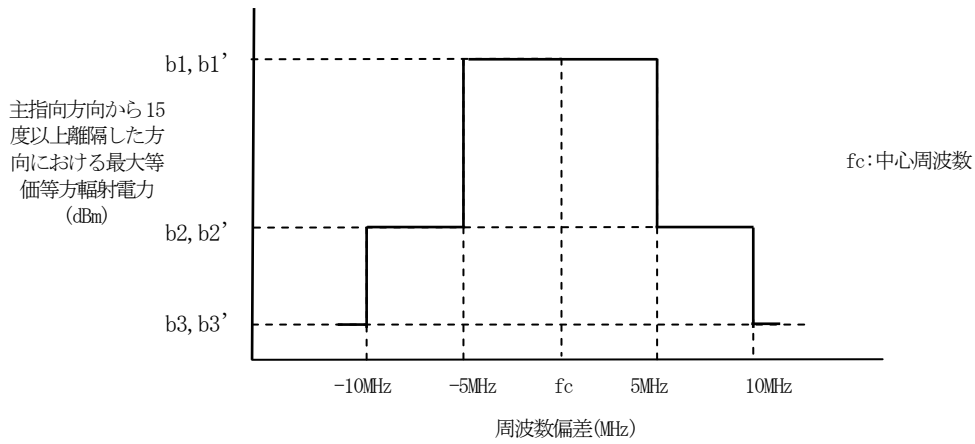
1 特定の放射角度における等価等方輻射電力の上限値は、次のとおりとする。各基準点の値は表を参照のこと。



等価等方輻射電力の上限値

		周波数オフセットパルス方式	周波数オフセットパルス方式以外の方式
5GHz 帯	a1	115 dBm	130 dBm
	a2	92 dBm	107 dBm
	a3	80 dBm	95 dBm
9.7GHz 帯	a1'	110 dBm	125 dBm
	a2'	87 dBm	102 dBm
	a3'	75 dBm	90 dBm

2 指定周波数からの特定の周波数偏差における等価等方輻射電力(主指向方向から15度以上離隔した方向における最大のもの)の上限値は、次のとおりとする。各基準点の値は表を参照のこと。



等価等方輻射電力の上限値

		周波数オフセットパルス方式	周波数オフセットパルス方式以外の方式
5GHz 帯	b1	80 dBm	95 dBm
	b2	25 dBm	40 dBm
	b3	5 dBm	20 dBm
9.7GHz 帯	b1'	75 dBm	90 dBm
	b2'	20 dBm	35 dBm
	b3'	0 dBm	15 dBm